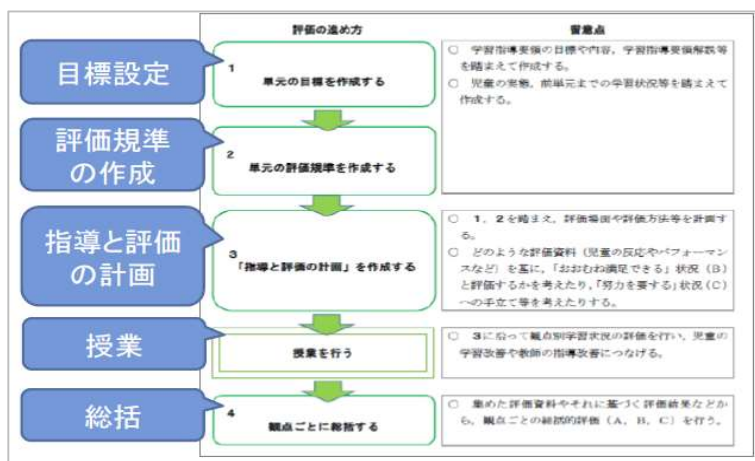


1

指導と評価の一体化

新年度が開始して一か月以上が過ぎました。先生方におかれては、学級、子どもたちの実態に合わせ、日々授業づくりにお取り組みのことと思います。

授業づくりでは、指導によって「児童生徒ができるようになっていくか」「できることを目的・場面・状況に合わせて使えるようになっていくか」を評価し、評価の結果から「児童生徒ができるようになるために指導すべきこと」「使えるようになるために指導すべきこと」を確認して実施していく、こうしたサイクルを作り上げていくことで、指導と評価の一体化につなげることができます。



文部科学省国立教育政策研究所 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 小学校外国語・外国語活動」

2

指導と評価の計画

授業づくりでは、一年間を見通して、子どもたちに、どの単元で、どの領域の力を身に付けさせるか計画することが必要です。その際、CAN - DO リストを活用し、児童生徒にできるようになってほしいことを確認することができます。

計画を立てる際、各単元において、3観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）をバランスよくみることが大切です。

ただし、各単元ごとに、すべての領域・観点について記録に残す評価を行う必要はありません。どの単元でどの領域を評価するか、パフォーマンステストをどこで行なうか等、計画を立てましょう。

<年間計画例>

	Unit 1			Unit 2			Unit 3		
単元目標	自己紹介で自分の好きなことやできることなどについて伝え合うことができる。			日本の行事や食べ物や、自分が好きな日本文化について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりすることができる。			自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介したりする文を書いたりすることができる。		
観点	知・技	思・判・表	主体	知・技	思・判・表	主体	知・技	思・判・表	主体
聞くこと	○				○	○			
読むこと							○	○	○
話すこと（やり取り）	○	○	○		○	○			
話すこと（発表）							○	○	○
書くこと							○	○	○

○単元では、「聞くこと」「話すこと（やり取り）」の記録に残す評価をしよう。

△単元では、「話すこと（発表）」のパフォーマンステストをしよう。

三重県教育委員会では、中学生が、ふるさと三重についての学習を深め、英語でその魅力を発信できる力を育むため、毎年、「郷土三重を英語で発信！～ワン・ペーパー・コンテスト～」を行っています。

中学生ならではの視点で、三重を訪れる外国人観光客や県民に「ぜひ知ってほしい！」と思う地域の隠れた名所・名品・偉人や、有名な観光地の知られざる魅力等を英語で1枚の用紙にまとめるもので、優秀作品は、リーフレットとして市町等教育委員会や各市町観光課等で配付します。

教科書には、自分たちの住んでいるところを紹介したり、地域の特徴等を取り扱っている単元があります。また、地域についてでなくても、「自分の考えを発表する」「自分の好きなものを紹介する」「人やものを説明する」単元もあります。そのような単元の活動として取り組んでみてはいかかでしょうか。

【例】・Here We Go! 2年 You Can Do It!① わが町観光プランをおすすめしよう

3年 Unit2 Our School Trip (おすすめの場所について教え合う)

・NEW HORIZON 2年 Unit3 My Future Job / 3年 Unit3 Animals on the Red List

・NEW CROWN 2年 Lesson2 My Dream / 3年 Lesson2 Languages in India

・BLUE SKY 2年 Project1 学校を紹介しよう / 3年 Unit2 Living Side by Side